

平成 27 年度事業報告 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

公益社団法人日本炊飯協会

はじめに

米消費量が日本全体では減少している中で中食・外食市場は増加しているが、この業務市場のニーズに合わせた生産への取組みが不十分でありさらに飼料用米の増産の影響もあり、業務用向けの米が不足してきており、再び、米の手当が難しくまた価格高騰に直面しています。このような事態の打開と、米消費を守るために、価格形成の透明化を求めて積極的に活動してきましたが、今後とも他団体と協力し強力に建議等の活動をする事と致しております。

また当協会は主に、①炊飯 HACCP 認定事業、②ごはんソムリエ認定事業③ごはんサポートキャンペーン事業、④災害時緊急支援事業等、社会貢献度の高い公益目的事業を実施してまいりました。今後とも事業の更なる充実をはかる所存ですので、関係各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。

以上

平成 27 年度事業計画に基づき、下記の通り事業を展開しました。

理事会

- *第 1 回理事会：平成 27 年 4 月 24 日（金）、参議院議員会館 B106 会議室にて開催。
会長及び専務理事より業務執行状況を報告し、平成 26 年度の事業報告、収支決算報告と会員の入会（正会員：東光食品株式会社、株式会社三丹本店、賛助会員：大倉アグリ株式会社、エフピコインターパック株式会社、ジェイエイトんどうフーズ株式会社）についてそれぞれ諮り承認可決した。
通常総会において、協会設立 20 周年記念の表彰を行うことを承認可決した。
- *通常総会時理事会：平成 27 年 5 月 20 日（水）、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル 3 階ロビーホールにて開催。会長に福田耕作、副会長に坂田文男、三橋美幸、奥正明、専務理事に三橋昌幸、また会長代行に坂田文男を選定した。
- *第 2 回理事会：平成 27 年 12 月 9 日（水）、参議院議員会館 1 階 102 会議室にて開催。
会長及び専務理事より業務執行状況を報告し、平成 28 年度の事業計画と収支予算、炊飯 PRP 認証事業及び会員の入会（正会員：株式会社パールライス宮城、賛助会員：株式会社いかがく）、及び定款変更案についてそれぞれ諮り承認可決した。
- *臨時総会時理事会：平成 28 年 1 月 28 日（木）、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル 3 階ロビーホールにて開催。坂田文男氏を代表理事（会長代行）に選定した。

総会

- *平成 27 年 5 月 20 日（水）、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル「龍田」にて通常総会を開催した。
会長及び専務理事より平成 26 年度の事業報告と収支決算の報告があり承認可決した。理事改選期であったが、全理事と監事の留任を承認可決した。また、総会時理事会で会長に福田耕作、副会長に坂田文男、三橋美幸、奥正明、専務理事に三橋昌幸、また会長代行に坂田文男が選定された事の報告の後、外国人技能実習制度での受入事例発表を（株）川島屋と明治ライスデリカ（株）より行った。
総会后、懇親会に移り、所轄官庁の農林水産省及び関係団体の来賓の方々のご出席のもと会員企業と親睦を深め盛会に終了となった。
- *平成 28 年 1 月 28 日（木）、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル「桜」にて臨時総会を開催した。
会長及び専務理事より平成 28 年度の事業計画及び収支予算についてそれぞれ諮り承認可決した。また、定款変更（会長代行（代表理事））について承認可決した。
さらに理事（副会長）1 名の退任を受け、木津嘉人の理事就任を承認可決した。
その後、HACCP 法改正を受けた炊飯 PRP 認定事業についての説明を行った。
また、総会時理事会にて坂田文男会長代行を代表理事に選定された事の報告を行った。
その後新年賀詞交歓会を開催し、所轄官庁である農林水産省の方々、関係団体の来賓の方々に多数ご出席頂き、会員企業の方々と交流を深め盛会に終了となった。

《各事業報告》

1. HACCP 手法支援法の認定事業

平成 27 年度の HACCP 高度化計画認定企業は 1 社(釧路学校給食パン工業(協))で、平成 28 年 3 月末現在で、高度化計画認定したラインは 96 となりました。

2. 米飯品位格付認定事業<ごはんランキング>

認定テストは、平成 27 年 6 月 19 日 11 社 12 検体
平成 27 年 10 月 8 日 9 社 9 検体
平成 28 年 2 月 19 日 11 社 11 検体

年間 3 回実施し、延べ 31 社が参加しました。

3. 食品衛生推進事業(斡旋物資)

全品目で取扱い量が増えた。

4. 研修指導事業

HACCP 認定希望の企業 2 社(株三丹本店、釧路学校給食パン工業協同組合)に事前アドバイスを行ないました。また HACCP 審査員が HACCP 認定取得の 57 ラインの監査で各工場を訪問し、年 1 回の監査を行うと共に、衛生管理レベル向上のため一般的衛生管理を中心とした指導助言を行いました。

5. ごはんソムリエ認定事業

第 11 回の「ごはんソムリエ認定試験」を平成 28 年 3 月 23~24 日に開催し 130 名が受験した。炊飯協会会員 40 名の他、農業者、米穀店、主婦、学生、行政機関等、35 の都道府県及び韓国から参加があり、年々応募は多彩な顔ぶれとなっています。今回で、ごはんソムリエ認定者は 1 千名を超えました。

6. 広聴広報事業

- ①「ごはんでサポートキャンペーン」は、昨年と同様イベント件数を先着 100 件、ごはん量上限 100 kg として、会員 13 社の協力を得て実施しました。実施イベント 137 件、参加者 6 万 1 千人、ごはん使用量 8,103kg となりました。
- ②『ごはんタイムス』を、7 月・11 月・3 月の 3 回発行し、会員に配布すると共に、会員外約 350 社の炊飯業者、ごはんソムリエ認定者及び図書館 41 に贈呈配布しました。
- ③「ノロウイルス対策」「クレーム対応の再点検」「新表示制度の主な変更点解説」など、解説を加えた通知文書を作成し各会員に配布しました。また食品業界関連の記事の切り抜き等をまとめて毎月 1 回会員へ発送しました。

7. 会員の入退会

今年度の入会は、正会員 3 社(東光食品(株)、株三丹本店、株パールライス宮城)、賛助会員 4 社(大倉アグリ(株)、エフピコインターパック(株)、株ジェイエイトんどうフーズ、株いかがく)、退会は正会員 2 社(食彩房成木屋(株)、丸仙製パン(株))で、平成 27 年 3 月末現在、正会員 71 社・賛助会員 23 社となった。

8. 国産米使用推進団体協議会

平成 27 年度も福田耕作会長が協議会会長として、引き続き「米価格形成の透明化」を大きなテーマとして取り組みました。

加盟団体 日本べんとう振興協会、日本炊飯協会、日本惣菜協会、
日本弁当サービス協会、加工用米取引センター

特別顧問(役員)、元農水省事務次官の高木勇樹氏も続投となった。

その他

【HACCP 審査委員会】

認定審査に伴う委員会を 31 回開催しました。

【他団体等セミナーへの参加】

(財)食品産業センター連絡協議会月例会議に参加等、他団体等主催による各種講演会に、積極的に受講参加し情報収集等を行いました。

平成 27 年度分の炊飯量市場規模実態調査を実施しました。(毎年明けに実施)

緊急連絡先一覧表を作成し、平成 28 年 3 月末に各会員に送付しました。

以上